



新社会人と新春懇談会

市では、市民の皆さんの意見を多く取り入れ、市民の皆さんとの協働のまちづくりを目指し、「市民懇談会」や「市長への手紙」を実施しています。

今回は、今年から新たなステージで活躍する新社会人の代表を迎え、つくばみらい市への思いや、まちづくりについて対談を行いました。

市長 皆さん、こんにちは。今日はお忙しい中、懇談会に参加いただき、ありがとうございます。今日は、皆さんが生まれ育ったこのつくばみらい市について、今思っていること、これから望むことなど、皆さんの率直な意見や考えを聞かせてください。今後のまちづくりの参考にさせていただきます。よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。

社会人になるにあたっての抱負

市長 皆さんは、4月から社会人となり、社会の第一線で活躍されることとなりますが、社会人になるにあたっての抱負を聞かせてください。

木川田 私は、地元金融機関に就職しますが、最初の半年、1

でも、自分で優先順位をしつかりつけ、きちんと期限内に終わらせ、次に繋げていけることができるようにしたいと思います。

市長 当然、皆さんは、初めて社会に出て働くわけですから、分からないことはたくさんあります。最初はとにかく、先輩、上司に言われたことを、素直に「はい」と聞いて、いろいろな仕事を経験すれば、自分のものになりますから、あまり気負わず頑張ってください。

伊藤 私は、この4月から消防士となり、消防学校に通うことになりました。訓練などは大変だと思いますが、厳しい訓練にも決して負けないように、強い気持ちでやっていきたいと思っています。また、公務員という職業は、何かと世間から注目される職業だと思います。今後は常に、まわりから見られているという意識を持って、行動したいと思っています。私が、消防士になりたいと思ったきっかけは、中学生時代の伊奈消防署での職場体験でした。私も、多くの子どもたちの目標となるよ